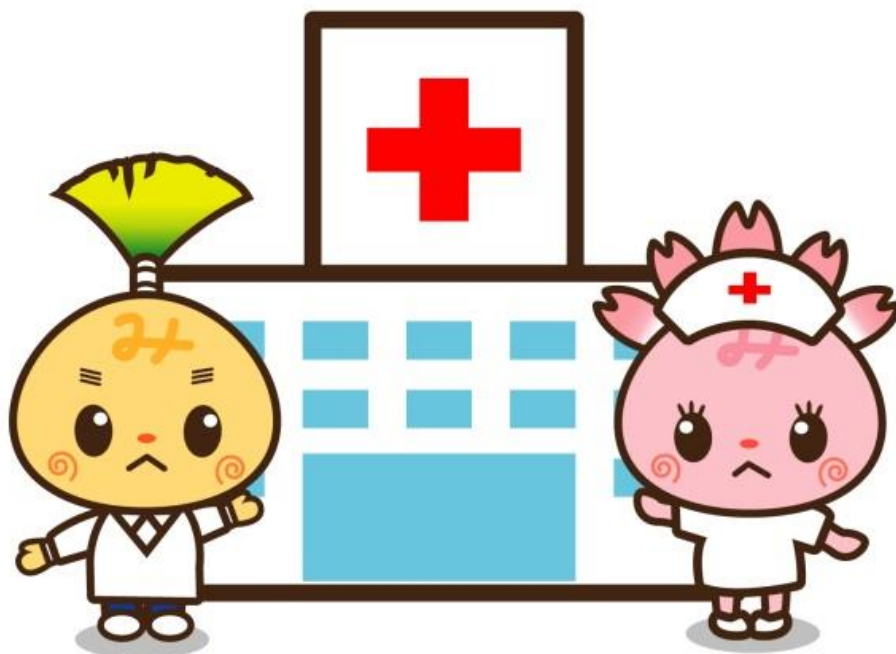


# 予防接種事故を防止しよう



子どもの予防接種は年々複雑になっています。

接種間隔や接種回数について十分に気を付けていても  
「うっかり見落とした」「勘違いをしていた」なんてことがあります。

“お医者さんまかせ”にならないよう、  
実際の事故事例を参考にうっかりミスを防止しましょう。

安全に予防接種を受けるため、  
お父さん・お母さんが、我が子の予防接種スケジュール  
マネージャーになりましょう！

三島市立保健センター  
(三島市健康づくり課)  
電話 055-973-3700

チェックシートも付いてるよ！

# 事故事例

何度もセルフチェック  
することが大事なのね



## CASE 1 同時接種

4種混合の接種当日、小児用肺炎球菌も同時接種することに。  
ところが・・・

次の予防接種まで20日以上の間隔をあげなければいけないところ、14日しかあいていなかった。

### 原因

- ①当日になって同時接種を申し出た。
- ②接種間隔の確認が十分ではなかった。

### 防止策

- ①あらかじめ予約して決めておく。
- ②同時接種の場合は前回の接種歴を確認し、接種間隔に十分気を付ける。

## CASE 2 接種スケジュール

3種類の予防接種を同時接種する予定だったが、1つだけ予診票を忘れた！  
その後、上の子の通院のついでに受け忘れた分を接種。  
ところが・・・

27日の間隔をあけるところ、7日しかあいていなかった。

### 原因

- ①きちんと説明書は読んでいたが、予定通りの接種ができなかったことで気が焦り接種間隔を間違えて認識してしまった。
- ②きょうだいの診察後に接種を希望したため接種歴の確認不足となった。

### 防止策

- ①体調不良などで予定通りに接種できなかったときは、接種間隔を再度確認してから接種スケジュールを立てる。
- ②きょうだいで受診するときは、接種間隔も含めて誰が何を接種するのか落ち着いて確認する。

## CASE 3 予診票の再発行

再発行した予診票で2種混合を接種。  
ところが・・・

半年後、なくしていた予診票が見つかり、公費負担の対象となる接種期限が迫っていたため、慌てて受診した。1回の接種で完了するところを、2回接種してしまった。

### 原因

- ①予診票を再発行したことを忘れていた。
- ②最初に2種混合を接種した医療機関とは違う医療機関を受診した。

### 防止策

- ①忘れてしまいそうなことは鉛筆書きや付箋を貼るなどして母子健康手帳に記載しておく。
- ②なるべく同じ医療機関を受診するようにし、医療機関を変える場合は、接種状況を良く確認する。

保護者の方からは「説明書を読んでいなかった」「勘違いをしていた」という声が多くあります。

医療機関でも医師、受付、看護師などが保護者の持参した母子健康手帳で接種状況をチェックする体制は整っていますが、毎日多くの人を訪れるなか、絶対に事故が起こらないとは言えません。事例にもあったように様々な状況が重なり、見落としてしまう可能性はあります。

ご家族にとっても三島市にとっても大切なお子さんです。保護者、医療機関、保健センターが協力して人為的ミスによる予防接種事故を防止しましょう。

## 仕事や子育てなどで忙しい毎日、 例えばこんなことはありませんか？

### 説明書を読む時間がない

#### 事故事例 CASE 1 に当てはまるかも？

子どもの予防接種は種類が多だけでなく、接種回数や接種間隔も複雑です。その日に受ける予防接種だけでなく、前後に受ける予防接種にも気をつけなくてはなりません。説明書や予診票冊子（赤ちゃん訪問などにて配付）は必ず読みましょう。



予診票冊子  
「三島市予防接種予診票」

とりあえず通知のあった予防接種は  
受けておけば大丈夫かな



#### 事故事例 CASE 1・3 に当てはまるかも？

個別に通知があるのは、三島市で記録している接種歴のないお子さんです。転入前の市町村の記録や自費での接種については三島市では把握しておりません。説明書を良く読み、お子さんの母子手帳に接種歴がないことを確認してから接種しましょう。

## 予防接種はなぜ必要なのか

### ○個人の命を守る

子どもがかかりやすい病気の中で、最も多いのが感染症です。感染症には風邪程度のものから、重症化し場合によっては命にかかわるようなものまで色々あります。予防接種は、そのような感染症に対する免疫をつくり、かかる確率を減らします。また、かかったとしても軽症で済むという効果もあります。

### ○社会全体を守る

予防接種には周りの人たちにも感染させない効果、薬が効かない耐性菌による重症の感染症を防ぐ役割もあります。接種率が高くなればなるほど、その病気にかかる人が減ります。



### 母子健康手帳をなくしてしまった

#### 事故事例すべてに当てはまるかも？

医療機関は母子健康手帳の記録を確認して予防接種を実施します。母子健康手帳を紛失した場合は、保健センター（健康づくり課）で再発行が可能ですので、接種歴を調べて、再度しっかり記入しましょう。

### かかりつけ医がない

#### 事故事例 CASE 3 に当てはまるかも？

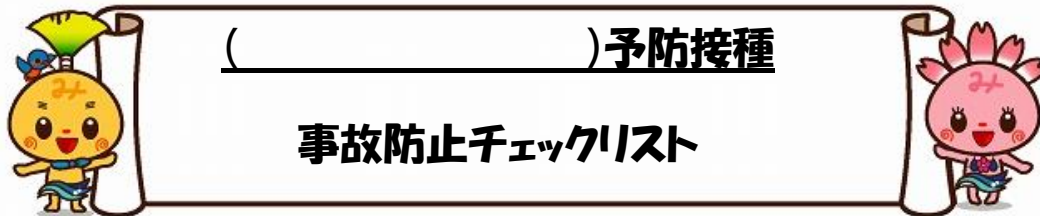
同じ予防接種を受けるのに、回数毎に医療機関を変えてしまうと、お子さんの接種歴の把握には母子健康手帳と保護者の記憶だけが頼りとなってしまいます。チェック体制を強化するため、できるだけ同じ医療機関で接種することをお勧めしますが、難しい場合には特に注意して接種してください。



予防接種のスケジュールは  
バッチリ！大丈夫！

#### そんなあなたも事故事例 CASE 2 に当てはまるかも？

スケジュールがタイトなときほど注意が必要です。一度立てたスケジュールと説明書を良く見比べて、接種前には最終確認をしましょう。



コピーして使ってね!

前回接種日 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 今回接種予定日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

( )日・週の  
 間隔があいている

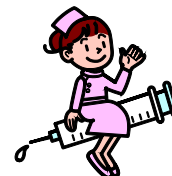
医療機関へ予約する前に・・・

対象年齢

公費負担の対象年齢を超えている場合は、全額保護者負担となります。

前回接種日から決まった間隔があいている

説明書の接種間隔を確認しましょう。他の種類の予防接種との間隔は表のとおりです。



今回接種したワクチン		接種間隔	次に接種するワクチン
注射生ワクチン	BCG・MR・水痘 おたふく	27日以上空ける	注射生ワクチン 経口生ワクチン 不活化ワクチン
		制限なし	
経口生ワクチン	ロタ	制限なし	注射生ワクチン 経口生ワクチン 不活化ワクチン
不活化ワクチン	B型肝炎・ヒブ・小児用肺炎球菌 4種混合・3種混合・ポリオ・日本脳炎 子宮頸がん・インフルエンザ		

最近の体調は良好

きょうだいやお友達が感染症にかかっている場合はあらかじめ医師へ相談してください。

当日、お出かけ前に・・・

今日の体調は良好

少し気にかかることがあるときは予診票へ記入しましょう。

母子健康手帳は必ず持参

子どもの最近の状況を知っている保護者が付き添う

保護者がやむを得ない理由により付き添うことができないときは、委任状が必要です。

接種後は・・・

接種後 30 分はできれば医療機関内で待機

ワクチンに対する強いアレルギー反応などは接種後 30 分以内に起こることが多いので、できれば院内で様子を見るか、すぐに医師と連絡が取れる状態にしておきましょう。

母子健康手帳の記録をチェック

接種したワクチンの記録を確認して、次回のスケジュールも立てておきましょう。

副反応の有無（発熱・接種部位の腫れなど）

生ワクチンは4週間、不活化ワクチンは1週間ほど副反応の出現に注意しましょう。異常な反応があった場合は、接種した医療機関へご相談ください。